

「対話活動」を行いました

高校2年生では探求型総合学習の一環として「対話活動」を行いました。「道徳」「探求活動」というと漠然としてイメージがつかみにくいのですが、高校2年生ではこれを「幸せプログラム」と名付け、親しみやすいテーマで「対話活動」を行うことにしました。今回は第1回目ということもあり、対話の中身よりも、対話の手順やルールを学ぶことを主眼としました。

「ドラえもん」の登場人物の中で、一番幸せな人は誰ですか」というテーマが設定され、各クラスでグループ対話を行いました。まず「対話」のルール説明がありました。



対話のルール

 発言権は「人形を持っている人！」 



- ① 何を言ってもいい
- ② 人の言うことに対して否定的な態度はNG
- ③ 発言しないで、ただ聴いているだけでもOK
- ④ お互い質問しあう
- ⑤ 人から聞いたことではなく自分の経験で話す
- ⑥ まとめない
- ⑦ 途中で意見が変わってもOK
- ⑧ わからなくなっても良い



普段の話し合いや討論会、ディベート大会とは違うルールのもと、初めての取り組みでしたが、大変活発に意見が交わされ、あっという間に時間が過ぎていきました。今回は第1回目でしたが、2学期以降もこの活動は続き、徐々に本格的なテーマにも取り組んでいく予定です。

